

9月16日～17日
五城目町の豪雨災害

平成19年10月号外
an extra OCTOBER 2007



広域農道の路面が決壊（館の橋付近）



農道を越えて流された稲（館の橋付近）



農道に残された大量の流木（恋地付近）

豪雨により川がはんらん 濁流が各地を襲う!!

町の被害額 約3億5千万円(9月26日現在)

町の主な被害状況(9月26日現在)

- ▶ 住宅関係
 - 床上浸水……………5戸
 - 床下浸水……………26戸
 - その他(小屋・車庫などの浸水) ……50戸
 - ▶ 農業関係
 - ・水 稲
 - 流木・土砂流入……………114㌔
 - 冠水(1日)……………175㌔
 - 浸水……………248㌔
 - ・農地決壊……………23か所
 - ・用排水路崩壊……………24か所
 - ・農道崩壊……………11か所
 - ▶ 河川・道路関係(町管理部分のみ)
 - ・河川決壊……………11か所
 - ・道路決壊……………4か所
- ※住宅や農作物に被害があると、税金が減免される場合があります。(詳しくは広報ごじょうめ10月号20㌔をご覧ください)

**馬場目川の水位
四・二二㌔を記録
三町内に避難勧告**

九月十六日の明け方から降りはじめた雨は、十七日も強さを増しながら降り続き、二日間の降水量は一八六㌔と、平年の九月の月間降水量一六二・二㌔を上回りました。(気象庁調べ)

十七日の夕方から、町内を流れる河川の水位はみるみる上昇し、馬場目川の水位は、十七日の午後十一時四十分(四・二二㌔(久保観測所)を記録し、平ノ下町内など三町内に避難勧告が出されました。

雨は、十八日の明け方には落ち着いたものの、刈り入れを前にした水田への浸水や住宅の床上・床下浸水、河川や道路の決壊など、町に大きな被害をもたらしました。

町では十七日午後七時に「災害対策室」を設置。同日午後八時二十分には「災害対策部」に切り替えて、被害状況の確認や避難場所の確保、物資の調達、床上・床下浸水住宅への消毒作業などを実施しました。

五城目町災害対策の経過

9月17日(月)

- 17:40 馬場目川の避難判断水位2.8㍍を観測(久保)
- 18:30 馬場目川のはんらん危険水位3.4㍍を観測(久保)
- 19:00 町災害警戒対策室を設置(室長:総務課長)
- 19:45 平ノ下町内27戸(86人)に避難勧告
- 20:20 町災害警戒対策部を設置(部長:町長)
- 21:00 内川川の水位3.49㍍を観測(黒土)
- 23:40 馬場目川の水位4.22㍍を観測(久保)

9月18日(火)

- 0:30 田町町内140戸(271人)、昭辰町町内44戸(110人)に避難勧告
湖東老健入居者30名が五一中体育館に避難
- 1:15 平ノ下町内の避難勧告を解除
- 1:20 災害協定に基づき、イオンスーパーセンター五城目店に物資要請(毛布100枚、パンと飲み物50人分)
- 2:38 田町町内、昭辰町町内の避難勧告を解除
災害警戒対策部を災害対策室に切り替える
- 14:10 床上・床下浸水世帯の消毒作業を実施

9月25日(火)

被災者(床上浸水世帯)へ町から見舞金を支給

9月26日(水)

- 18:04 災害対策室を解散



刈り入れを前にした水田に、川からあふれた水が土砂や流木とともに流入 (町村付近)

護岸ブロックの高さを上回る馬場目川の増水により、えぐり取られた水田にたまった水 (杉沢付近)



また、ふるさと五城目会からお見舞いをいただいています。ありがとうございます。

渡邊町長は「いただいたお金は災害対策事業など町民のために使わせていただきます。心から感謝申し上げます」とお礼の言葉を述べました。

九月十六日から十七日にかけての豪雨による被害を受けた五城目町をお見舞いしたいと、九月二十七日に姉妹都市千代田区から石川雅己区長の代理として安藤欣也区長室特命調査員が役場を訪れ、千代田区からの災害見舞金百万円を渡邊町長に手渡しました。

ありがとうございます
姉妹都市千代田区から
お見舞いをいただきました

災害でお困りの際はぜひご連絡を

◻農地・農作物の被害に関すること

産業課農林係

☎852・5215

◻河川・道路の被害に関すること

建設課建設係

☎852・5252

◻り災証明書の発行に関すること

消防本部

☎852・2028

◻町税の減免に関すること

税務課

☎852・5144